

施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	1	地域産業の振興		
	施策	3	観光交流	産業部	内匠 勝也

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 日々、変化・多様化する観光市場の動向に的確に対応し、市民の暮らしとの調和と暮らしの充実を前提とした「観光まちづくり」をテーマに“『訪れてよし』『住んでよし』『招いてよし』の観光都市名張”の実現に向けた取組を、地域、各種団体、事業者などのあらゆる主体との連携により進め、持続可能な観光振興と地域経済の活性化を図ります。

2. 令和2年度の実施内容及びその成果



・本市の主要観光地である赤目四十八滝の観光入込客数の増加を目指し、「忍者ツーリズム創造事業」と「竹灯コンテンツ造成事業」に取り組みました。「忍者ツーリズム創造事業」では、赤目自然歴史博物館の第二期整備への補助を行ったほか、黒田の悪党や百地三太夫皆跡の観光開発に向けた地域住民や有識者との現地調査、まるごと1か月忍者修行選手権大会や修験道者の先達による長坂山回峰行トレッキングを試行的に実施しました。「竹灯コンテンツ造成事業」では、名張市エコツーリズム推進協議会で実行委員会を立ち上げ、『なばり竹あかりSDGsプロジェクト』をスタートしました。プロジェクトの一環で開催した『赤目渓谷 幽玄の竹灯(10/24~1/31)』の延べ来場者数は14,433人で、例年閑散期となる赤目四十八滝の冬の誘客に大きく貢献しました(入込客数の対前年同月比 12月は179.1%、1月は195.5%)。このプロジェクトは“竹”をテーマに「環境」「社会」「経済」の持続可能な循環を生み出し地方創生につなげていこうという取組で、放置竹林の間伐により確保した竹を再利用し、市民参加型のワークショップで制作した竹あかりを赤目四十八滝に設置してライトアップイベントを開催し、イベント収益を竹林整備や地域振興に還元するといったものです。令和2年度には市内5箇所の竹林整備を行ったほか、竹あかりづくりワークショップを6回開催し小学生を中心に約140人の市民の皆さんに参加いただきました。

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光需要が著しく低迷する中、市民の“ジモト旅”促進による市内観光事業者支援を目的に『観光応援キャンペーン』を実施しました。市民を対象にした市内観光経費への補助金交付や宿泊割引クーポンの発行、青蓮寺湖ぶどう狩りや赤目四十八滝の忍者修行体験などの体験料の割引(補助)を行うことで、観光施設の利用と観光消費を促進しました(キャンペーン参加者数10,913人、観光消費額28,033,046円)。このキャンペーンで実施した市民によるSNS投稿は、「#名張感動」投稿キャンペーンに発展させ現在も継続しています。(R3.5.26現在の投稿数は2,596件)

・東奈良名張ツーリズム・マーケティングの取組では、『赤目渓谷 幽玄の竹灯』を中心とした広域周遊ツアー商品を企画し、関西を中心とした国内旅行代理店90社へのセールスやSNS等によるインバウンド向けプロモーションに取り組みました。また、新たに木津川圏域ダム群をテーマにしたサイクリングツアーの造成に向け、地元サイクリストの協力のもと10のサイクリングコースの設定と試走を実施しました。圏域の観光関連事業者を対象としたコロナ禍における「安心・安全な観光地づくりセミナー」や「インバウンド対応能力強化研修」も実施しました。

・こうした取組を通じ、コロナ禍において全国的に観光客が減少する中、本市の主要観光地の赤目四十八滝(対前年度比103.8%)と青蓮寺湖観光村(対前年度比99.8%)ともに前年度並みの観光入込客数を維持することができました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
名張市の物産や観光地、歴史や文化で、誇れるまたは紹介したいものがあると思う市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	60.0	
	成果	53.0	52.9	54.8	57.0			57.1%
赤目四十八滝を訪れた外国人の数(人)	目標	-	-	-	-	-	10,000	
	成果	2,924	3,132	3,221	1,190			0.0%
名張市観光協会公式ホームページへのアクセス件数(件)	目標	-	-	-	-	-	313,000	
	成果	257,909	321,760	270,983	249,122			0.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



・令和3年度が国の交付金最終年度となる「忍者ツーリズム創造事業」では、前年度に実施した調査等を踏まえた体験プログラムの商品化を進め、有識者や著名人にも協力をいただきながら「修験・悪党・忍者」を本市の観光コンテンツとして確立させる必要があります。

・「竹灯コンテンツ造成事業」に関しては、国の交付金事業が終了した後に民間主導によりこのプロジェクトを継続していけるよう、令和3年度は観光事業収益の向上とその収益を次の取組に還元させるスキームを確立していくための重要な年となります。そのため、赤目地域をはじめ関係地域との連携や、企業や高等教育機関への参画の呼びかけ、メディア業界や旅行代理店へのプロモーションには特に注力しなければならない。

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による観光需要の低迷から、施策指標に掲げる外国人観光客数と観光協会ホームページへのアクセス数が減少しました。未だ終息の見通しがたかない中、国内とりわけ関西を中心とした近隣府県からの誘客とともに市民による市内観光消費を促していく仕掛けづくりと効果的な情報発信が必要です。あわせて、自然を生かしたエコツーリズムのさらなる推進と新たなメニューづくり、行政、観光協会、観光関連事業者が一体となった「安心・安全な観光地づくり」への取組が不可欠です。

・東奈良名張ツーリズム・マーケティングに関しては、圏域の観光関連団体や事業者等との連携を深め、設立当初から目標としていた民間主導型の組織へと発展させていく必要がある。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容（令和3年度以降）



- ・「忍者ツーリズム創造事業」では、「修験・悪党・忍者」をテーマに、各界の有識者等によるオンラインシンポジウムを開催するほか、新たなエコツーリズムや体験プログラムの商品化などに取り組みます。また、錦生自治協議会との連携により、竜口の百地三太夫砦跡周辺の環境整備とウォーキングイベントの開催に取り組みます。
- ・「竹灯コンテンツ造成事業」では、前年度の取組の継続に加え、赤目まちづくり委員会との連携により、竹を生かした体験型の観光プログラムの実証事業に取り組むとともに、大手旅行会社との連携により市外の企業や学校を対象にしたSDGS学習旅行を実現させるなど新たな取組をスタートし市内への誘客と観光消費の拡大につなげていきます。
- ・東奈良名張ツーリズム・マーケティングの取組の中で、前年度に設定したコースを活用したサイクリングツアーの企画やモニターツアーの実施、レンタサイクル事業や青蓮寺湖を舞台にしたサイクリングイベントの開催などに取り組みます。あわせて、当組織が担う役割の民間への移譲も視野に入れ、広域DMC（地域密着型の旅行会社）の起業を目指す地域おこし協力隊員の募集を行います。

施策を構成する主な事務事業

*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

*R2決算見込は、R1からの繰越額も含みます。

*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	広域観光事業	産業部	観光交流室	加盟する各広域観光連盟等への負担金 ・三重県観光連盟 ・東大和西三重観光連盟 ・日本忍者協議会 ・伊賀流忍者観光推進協議会 ほか	1,937	1,937	0	0
一般	観光戦略推進事業	産業部	観光交流室	一社)名張市観光協会をはじめ関係者との連携により、「名張市観光戦略」に掲げる各種事業に取り組みました。 (令和2年度実績) ・観光戦略推進会議の開催(1回) ・エコツーリズム推進協議会の開催(1回) ・名張駅前観光案内所の運営 ・観光案内Webサイト等による観光情報の発信 ・観光誘客事業の実施(ボランティアガイドと歩こう、お菓子屋さんめぐりなど)	5,608	5,608	12,462	9,462
一般	忍者ツーリズム創造事業	産業部	観光交流室	赤目四十八滝の自然と忍者のルーツや精神など、本市特有の観光資源を生かした観光コンテンツの開発と国内外に向けたプロモーションに取り組みました。 (令和2年度実績) ・「まるごと1ヶ月忍者修行選手権」の開催(931名参加) ・「長坂山回峰行トレッキング」の試行開催(10名参加) ・赤目自然歴史博物館開館1周年記念企画展示開催 ・有識者監修による忍者プロモーションリーフレットの作成 ・日英二か国語でのオンラインプロモーション ・三重県フェア等観光キャンペーンへの出展(計3回) ・赤目自然歴史博物館の整備支援[第二期工事](補助金)等	15,999	8,000	5,000	2,500
一般	竹灯りコンテンツ造成事業	産業部	観光交流室	なばり竹あかりSDGSプロジェクトを設立し、“竹”をテーマにした「環境」「社会」「経済」の持続可能な協働循環社会の構築による地域振興と観光誘客に取り組みました。 (令和2年度実績) ・なばり竹あかりSDGSプロジェクト実行委員会の設立 ・竹灯づくり体験ワークショップの開催(6回、参加者140名) ・赤目溪谷「幽玄の竹灯」の開催(10/24~1/31) ・日英中3か国語でのプロモーション ・ツアー商品の企画とファムトリップの開催 ・旅行代理店へのセールス活動 ・観光事業者向けスキルアップセミナーの開催	7,860	3,931	6,000	3,000
一般	観光消費喚起緊急対策事業	産業部	観光交流室	コロナ禍で低迷する市内観光事業者への支援を目的に、市民が市内観光に要した経費の一部の補助を行うことで、市民による市内観光消費を促進しました。 (令和2年度実績) ・観光応援キャッシュバックキャンペーン 対象期間 令和2年6月13日(土)から8月31日(月) 利用者数 347人(宿泊195人、日帰り152人) 観光消費額 4,742,222円(実績報告額の合計)	3,003	0	0	0
一般	宿泊施設経営継続支援事業	産業部	観光交流室	コロナ禍で低迷する市内観光事業者への支援を目的に、赤目四十八滝の忍者修行体験及び青蓮寺観光村のぶどう狩りの利用料金の割引に対する補助を行い、観光施設の利用と観光消費を促進しました。 (令和2年度実績) 対象期間 令和2年8月21日(金)から10月31日(土) 利用者数 96件 350人 観光消費額 6,294,624円(宿泊料金明細の合計)	2,614	0	0	0

施策を構成する主な事務事業

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	観光施設利用促進支援事業	産業部	観光交流室	コロナ禍で低迷する市内観光事業者への支援を目的に、市民を対象に市内宿泊施設の割引クーポンを発行し、市民による市内観光消費を促進しました。 (令和2年度実績) ・観光応援キャンペーン第二弾『今はとことんジモト旅』 対象期間 令和2年8月8日(土)から同年10月31日(土) 利用者数 10,216人 観光消費額 16,996,200円(利用料実績の合計)	10,363	0	8,500	0
一般	名張市観光協会補助金	産業部	観光交流室	一社)名張市観光協会に対し運営補助金を交付しました。	4,500	4,500	0	0
一般	内水面資源観光活用事業補助金	産業部	観光交流室	内水面資源を活用した観光誘客事業(稚鮎の放流、有害魚の駆除、河川の清掃管理、集客イベント開催)を実施する市内の3つの漁業協同組合に対し補助金を交付しました。 ・名張川漁業協同組合 ・長瀬太郎生川漁業協同組合 ・青蓮寺川香落漁業協同組合	2,585	2,585	2,586	2,586